

分野：②生態系・生物多様性

おおたかの森を元気にしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

風の森狭山台みどり幼稚園年少すみれ組（20人）

所要時間



90分

場所

おおたかの森の再生地

実施時期

令和2年9月29日

概要

森の再生地でトンボやバッタ、チョウやハチなどの観察
外来植物を一つだけ見つける
池の生き物を探す
キノコのホダ木の重さを体験する

プログラムの
ねらい

傷ついた自然を再生するためには、お友達と力を合わせ楽しく、怪我のないように注意をする。
生きもののつながりと大切さを分かり、ハチなどの危険な生きものとの対処の仕方を学ぶ。

プログラムの内容

1 トンボやバッタ、チョウやハチ、水辺でメダカやアメンボウの観察（20分）

原っぱでバッタを探していると、カブトムシの残骸を見つけて大騒ぎ。カラスが食べたことを説明しました。池ではトンボの抜け殻とメダカを見つけました。

2 外来植物探し（10分）

トンボを追いかけて背の高いオオブタクサを見つけました。

3 春に駒打ちしたキノコのホダ木を運ぶ

春に駒打ちしたばかりのキノコのホダ木が重いことを体験し
ホダ木置き場まで友達と協力して移動する

受講者の反応

見るもの殆どが初めての経験でした。はじめは怖がっていた子ども、だんだんと興味を持ってくれたことは大変うれしいことです。森の大切さをこれからもたくさん学びたいと思います。初めての一步は大変良い経験になりました。

環境学習の様子（写真）

